



平成25年9月9日
一般社団法人日本地質学会

日本地質学会第120年学術大会(仙台大会)

発表形態:

資料配付(9月9日)

発表先:

文部科学省記者会、宮城県県政記者クラブ、科学新聞社

概要:

1) 日本地質学会第120年学術大会(仙台大会)を開催 (資料1)

学術講演の見どころ「シンポジウム・セッションハイライト」(資料2)

公開シンポジウム「東日本大震災:あの時, 今, これから」

2) 表彰

3) 関連行事

(1) 市民講演会

「災害に備える安全な社会とは～求められる発想の転換と主体性～」講師: 柳田 邦男

(2) 地質情報展2013みやぎ「大地を知って明日を生かす」

産業技術総合研究所、スリーエム仙台市科学館との共催で地質をテーマにした展示会を開催します。地質調査総合センターが有する各種地質情報から、宮城県および周辺の地質現象や地震・津波・地盤災害の起こるしくみについて展示パネルでの解説を行います。また、小さなお子さんにも楽しく地学を学んでもらうために化石レプリカなどの体験学習コーナーを用意します。

(3) 小さな Earth Scientist のつどい ～第11回小、中、高校生徒「地学研究」発表会～

中・高等学校の地学クラブの活動、および授業の中で児童・生徒が行った研究発表を行います。

内容:

1) 日本地質学会第120年学術大会(仙台大会)を開催 (資料1)

開催日: 2013年9月14日(土)~16日(月・祝)

場所: 東北大学川内北キャンパス(仙台市青葉区川内 41)

HP: <http://www.geosociety.jp/sendai/content0001.html>

日程・発表プログラム等は以下の HP から閲覧できます:

<http://www.geosociety.jp/sendai/content0007.html>

学術大会を取材希望の方は、事前(学会事務局)、もしくは当日(会場受付)申し出て下さい。

【シンポジウム・セッションハイライト】 (資料2)

仙台大会では、2件のシンポジウム(内、公開シンポジウム1件)と30件のセッションが開催され、近年で最も多い635件の研究発表が予定されています。

今大会からの初の試みとして、各セッション世話人の選んだ「おもしろそう、注目すべき、ぜひ聞いてほしい」講演を分かりやすく紹介した「シンポジウム・セッションハイライト」を作成しました。充実した情報提供により、学生や専門の異なる参加者が、優れた研究に出会うことのできる機会が増えることが期待されます。

【公開シンポジウム】

「東日本大震災:あの時、今、これから」

日時: 9月15日(日) 14:30~18:00 (入場無料)

会場: 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

2) 表彰

一般社団法人日本地質学会では地質学に関する優秀な研究業績を修めた方や地質学の発展・普及による社会貢献の著しい方を顕彰しています。本年の受賞者は次の方々および団体です。

日本地質学会賞: (2件)

受賞者 井龍 康文 (東北大学大学院理学研究科)

対象研究テーマ 琉球弧の第四紀石灰岩と海洋炭酸塩堆積物の堆積学的・地球化学的研究

受賞者 乙藤 洋一郎 (神戸大学大学院理学研究科)

対象研究テーマ 日本列島と大陸の変形を古地磁気学から探る

日本地質学会小澤儀明賞: (1件)

受賞者 尾上 哲治 (熊本大学大学院自然科学研究科)

対象研究テーマ 付加体の海洋性岩石を用いた地球環境変動に関する研究

日本地質学会柵山雅則賞：（1件）

受賞者 岡本 敦（東北大学大学院環境科学研究科）

対象研究テーマ 沈み込み帯における流体移動と水-岩石相互作用に関する岩石学的実験的研究

日本地質学会 Island Arc 賞：（1件）

受賞論文 Keiko Hattori, Simon Wallis, Masaki Enami, Tomoyuki Mizukami, 2010, Subduction of mantle wedge peridotites: Evidence from the Higashi-akaishi ultramafic body in the Sanbagawa metamorphic belt. *Island Arc*, 19, 192-207.

日本地質学会小藤文次郎賞：（1件）

受賞者 森田 澄人（産業技術総合研究所）・中嶋 健（産業技術総合研究所）・花村 泰明（JX 日鉱日石開発（株））

受賞論文 森田 澄人・中嶋 健・花村 泰明, 2011, 海底スランプ堆積層とそれに関わる脱水構造: 下北沖陸棚斜面の三次元地震探査データから. *地質学雑誌*, 117, 95-98.

日本地質学会学会表彰：（2件）

受賞者 岡村 眞（高知大学総合研究センター）

表彰業績 地震・津波研究の新分野開拓と普及教育活動

受賞者 静岡県袋井市（代表者 市長 原田 英之）

表彰業績 地層保全を活かす市民公園の先駆的取り組み

3) 関連行事

(1) 市民講演会「災害に備える安全な社会とは ～求められる発想の転換と主体性～」

講師： 柳田 邦男（作家・評論家）

日時： 2013年9月16日（月・祝） 14:30～16:00（13:30開場）【入場無料】

会場： 東北大学百周年記念会館川内萩ホール（仙台市青葉区川内 41）

*アクセスマップ→ <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/>

後援： 仙台市教育委員会・宮城県教育委員会・河北新報社・TBC 東北放送

講演趣意： 現代の過密社会においては、自然災害が巨大災害の色彩を濃くしている。その主要な背景要因として、科学・技術への過信、歪んだ効率主義・科学主義、リスクの確率論への過度の依拠、リスクコミュニケーションの未成熟などを指摘することができる。それらを克服するには、どうすればよいのか。真に安全な社会を構築する基盤と成る考え方の枠組みとして、地殻変動の時間スケールに人間の時間をどう合わせるか、技術や確率論の限界をどう認識するか、効率主義をどう見直すべきか、防災対策のハードとソフトのバランスをどう社会的に認知すべきか、リスクコミュニケーションをこの国に根付かせるにはどうすればよいのか、といった問題について論じたい。

詳細 HP: <http://dges.es.tohoku.ac.jp/koenkai/Top.html>

【ポスター展】

講演会の前後各1時間(13:30～14:30、16:00～17:00)、萩ホールのエントランスロビーにて、一般市民を対象とした地質学会の研究者による研究紹介のポスター展を開催します(発表者による説明有り)。

(2)地質情報展2013みやぎ「大地を知って明日を生かす」

日程： 2013年9月14日(土)～16日(月・祝) 9:00～16:45 【入場無料】※ 科学館の常設展入場は有料(初日は13:00開場、最終日は12:30終了)

会場： スリーエム仙台市科学館(主会場:3Fエントランス)

*アクセスマップ→ <http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/access/>

主催： 一般社団法人日本地質学会・産業技術総合研究所地質調査総合センター

共催： 一スリーエム仙台市科学館

後援： 宮城県、宮城県教育委員会、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、河北新報社、NHK 仙台放送局、一般社団法人全国地質調査業協会連合会、日本ジオパークネットワーク

紹介 HP: <https://www.gsi.jp/event/2013fy-event/miyagi2013/>

内容： 宮城県および周辺の地質をはじめとして、最新の地質学の成果や地震・津波・地盤災害の起こるしくみをわかりやすく体験的に展示・解説します。小学校入学前のお子様からお年寄りまで、皆さんに楽しみながら「地質」を学んでいただけるイベントです。

展示コーナーで解説をするのは、地球科学の先端の研究を日々行なっている研究者です。展示についてだけでなく、地球について日頃感じている疑問など、なんでも質問してください。

体験コーナー：

「化石のレプリカ作り」・「地盤の違いによる地震の揺れ実験」・「シースルー火山で噴火実験」・「自然の不思議：鳴り砂」・「ペットボトルで地盤の液状化実験」・「蔵王見たまま砂絵で地質図」・「グラブ採泥器を使ってマンガン団塊を採ろう！」・「地学クイズに挑戦」

展示と解説のコーナー： ※各コーナーでは地質研究者が解説します

- ・最新の地質学の成果の紹介
- ・地震・津波・地盤災害の起こるしくみ
- ・復興支援
- ・再生可能エネルギー

- ・地質なんでも相談
- ・地球惑星フォトコンテスト写真展
- ・地学オリンピック： 目指せ金メダル –アルゼンチン大会への道–
ほか

(3) 小さな Earth Scientist のつどい ～第11回小、中、高校生徒「地学研究」発表会～

日時： 2013年9月15日(日) 9:00～15:30

場所： 仙台大会ポスター会場(東北大学川内北キャンパス講義棟 C 棟)

後援： 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

内容： 地学普及行事の一環として、地学教育の普及と振興を図ることを目的として、学校における地学研究を紹介する「地学研究」発表会をおこなっています。仙台大会でも、中・高等学校の地学クラブの活動、および授業の中で児童・生徒が行った研究の発表をします。研究者も発表するポスター会場内に、特設コーナーを用意し、児童・生徒同士のみならず、研究者との交流もできます。なお優秀な発表に対しては「優秀賞」を授与します。

参加予定校(7月30日現在、9校、1団体より16件)

- ・学校法人朴沢学園 明成高等学校(宮城県) (3 件)
- ・青森県立八戸北高等学校 SSH 地学班
- ・学校法人遺愛学院 遺愛女子中学・高等学校地学部(北海道)
- ・群馬県立太田女子高校地学部
- ・横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校天文部
- ・早稲田大学高等学院理科部地学班
- ・山梨県立日川高等学校(2 件)
- ・静岡県立磐田南高等学校地学部地質班・兵庫県立加古川東高等学校地学部(3 件)
- ・未来の科学者を育成する新潟プログラム(中学生 2 件)

4) 連絡先：

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-8-15 (社)日本地質学会事務局

電話 03-5823-1150 ファックス 03-5823-1156

e-mail main@geosociety.jp

URL <http://www.geosociety.jp>

担当理事:内藤一樹(029-861-3953)